パソコン同好会 10月例会資料

パソコンのメンテナンス 総集編その2

- システムの設定変更で「C」ドライブの空き容量を増やす
 システムの設定を変更するということは、何らかの制約を加えること。
 その制約以上に、「C」ドライブの空き容量確保が優先する場合に実行したい。
 - 1)「システムの復元」対策

(1)「復元」に必要な「バックアップデータ」を削除する。

「システムの復元」画面 「システムの復元の開始」画 面から「復元する」を選択し 「次へ」で表示される。

「復元のポイント」が太字の 時点でのシステムに復元される



「スタート」 「すべてのプログラム」 「ディスククリーンアップ」を選択する。 「ディスクの選択」画面が表示される。 ドライブが「C」であることを確認し 「OK」ボタンをクリックする。

「アクセサリ」 「システムツール」



「ディスククリーンアップ」の画面が表示さ れ、「確保される空き領域の計算」に続き、 クリーンアップ実行画面が表示される。 続けて「詳細オプション」タブを選択する。 「システムの復元」欄の「クリーンアップ」 をクリックし、「OK」ボタンを押す。



- (2)「システムの復元」割当てられている領域の制限
 - XPの初期値では、「C」ドライブの10%程度が設定されている。ドライブの総容量に もよるが、新たなアプリケーションのインストールをする場合には、初期値に一旦戻す ことが必要になる可能性がある。
 - 「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を開く。
 - 「システムのプロパティ」が開かれる。
 - 続けて「システムの復元」タブを開く。
 - 「システムの復元」タブを開く

447085470923140 947083	復元を開始にする(①	
929ABBROSHER 9 WWWEERVELL 1919	ステムの知知い後期であ そのいろして、単語であ	ためのドライブ上の数パティスタ おうちしていたちい。
利用可能なドライブなど ドライブ	1788	REQ
D) D) D) D) D) D)	10日 15日 15日 15日	
Brodueto Ho ilito	52	

「ドライブ」の「C」を選択し 「設定」ボタンをクリック。

「ドライブCの設定」画面が表 示される。 現在(初期値)の設定値が表示 されている。 スライダを左右に動かして設定を 変更する。

念のため、「システムの復元」を 起動し、現在時点を復元ポイント に設定しておく。

1947 99 4歳	* 🛛 🖾
- (c) 5 2	t.
201 (1977), 195 51-200 (197,000 (107,001) 850,950 (1881),	(プです。すべてのドライブでンステムは増売も映新にしたは、切り、このド 生産無効率できません。すどてのドライブのシステムが増売を開始にする してにだれったシステムの増売し ラスに買るには、ドインセル1 を20ックし
・ディスクは88.000月 5-2.5 上の回用に 口石に動かしての 第会が約0.5 年。 使用するディス	日 使用するティスク構成をあらず場合はスライターを加上、増やす場合 535、ティスク構成をあらすと、ド発行でありましたポイントが成少する 24編成と1
#+ [1DN CREES MED
	08 445/26

参考 「システムの復元」のための、サービスがバックグラウンドで常に稼動している。

そして、24時間毎にシステムの状態を自動保存している。 また、アプリケーションやドライバのインストールなどシステム構成が変更された場合も、自動的に システムの状態を保存する。 復元の実行時には、カレンダーから任意の復元ポイントを選択し復元する。この場合、選択した復元 ポイントより後にインストールしたアプリケーションなどは、再インストールが必要になる。 2)フォントの削除と移動

削除に自信がない場合は、外付けドライブに保存し、必要な場合に元に戻す。 「コントロールパネル」から「fonts」を開く。又は「スタート」 「ファイル名を指定 して実行」を開き、「fonts」と入力。

「フォント」の一覧が表示される。

削除対象としないフォント アイコンが赤い「A」のフォント 名前が「MS」で始まるフォント

移動でエラーとなるフォント

Dドライブ又は外付けドライブに、移動先フォルダ「fonts」を作成する。

移動先フォルダ「fonts」を開く。

フォント一覧から、「fonts」に「移動」する。

フォント一覧から、移動又は削除するフォント(アイコン)を開き、フォント(字体)を 確認し、削除又は移動の区分をする。

なお、余談ながら日本語は4バイト、英字は2バイトで日本語文字を対象とする方が効果 的だ。

3)「キャッシュ」の容量を制限する。

「キャッシュ」とは、HDDに保存されるウエブページのデータのこと。

次回にそのページを閲覧する場合、新たなダウンロードするよりHDDのデータを読み出す 方を選択する目的で、作成される。

昨今では、PC自体の高速化や通信回線の高速化も加わり、「キャッシュ」自体が保存され ることに意味がない。

さらに、蓄積された「キャッシュ」の削除も、容易に行える環境にあるがHDDに保存され る条件に変わりない。

「C」ドライブの空き容量確保の一助に、「キャッシュ」に割り当てする領域の縮小を行う。

「コントロールパネル」 「インターネットオプション」の順に開く。

「インターネットのプロパティ」が開く

「閲覧の履歴」欄の「設定」をクリック。

159-3+62020027	N 😰
## ビザメガネ、フライバレー コンテンク 単数 フロクシ オーム、イージ ##204 - パージのウナドのあずねいは、それぞ メントンドログレージのウナドのあずねいは、それぞ	L BHRIS
	20140031 1.840 No 79-14 1.840 No 79-14
**	(Rep.
50040 No. 4-30877.010818	
	Cyfite april (17-2-2402)

「インターネット一字ファイルと履歴の設定」 が開く。

「インターネット一時ファイル」欄で 「使用するディスクの領域」を設定する。

「履歴」欄では、保持する日数を短縮する。

The Particular and a			
利用するの時間にのため、	Web. 47-51, 13-	-28709441	0.55-348945
保存しているページの新し	いらうため細	2	
〇〇日のサイトを表示	学るたびに確認する	(B)	
O Internet Explorer	を解除しずるたくれつ	朝1545-05	
CHART ACIDA	100		
CONTRACT CONTRACTOR	- COMMENTS	14	-
(1013 60 - 250	C. CONNECTOR	-	60 E
STATES.			
CADon marrie and Sate	ings/Owner#Laca	d Settings#Ter	turnet internet
O TROUGHT IN A REPORT			
Piles#			
File#	170101081		(108T02)
7967 (2465098935.) [47919H0表1	NW) (77	(1108710)
7465058125.) (47919H0#1	100 (75	(110表节级)
File# (フルルタの日本145.)(素可以な 200 サイトロー	47919H0表1 125月日間、200	nart Explorer ((HOATO)
File# (24650時前日) (高可にたかりサイトロー 取りにためりサイトロー 取りにないたサイトロー	47910H0表5 105月日間 1m	NW C77	(#0870) #775058

4) その他の、システムが予約的にHDDに設定している領域例

*「ごみ箱」

「ごみ箱」のアイコンを右クリックして 「プロパティ」を開く。 「ごみ箱のプロパティ」で「ごみ箱」のサ

イズが設定できる。

「ごみ箱」を一種の保存場所として機能さ せない場合は、極端に容量を小さくできる。



*「電源の休止状態」

「コントロールパネル」 「パフォーマンスとメンテナンス」を開く。

- 「電源オプション」を開く。
- 「休止状態」タブを開く。 「休止状態を有効にする」のチェックを

外す。

休止状態を有効にする、とは電源OFFの処理 にあたって、メモリの内容をHDDに保存する 作業を行う、ということ。

N ECONAL	931年5月1日年9月1日 1月1日日 1月1日日	a Recease the	1.41-331
DIFFILMENTIC	(5/8)		
7(20025488 9(20025488 9(20025488)	20,000 MB 20,057-0.51016	776 MB	